

1 沿革

佐賀県衛生薬業センターは、平成 13 年、佐賀県衛生研究所と佐賀県薬業指導所が統合し、現在に至っている。

衛生研究所の前身は元警察部衛生課に属し、細菌検査室と衛生試験室に分かれて業務を行っていた。のちに、内務部へ、終戦後は衛生行政の拡充に伴い教育民生部衛生課に移管された。

地方衛生研究所設置要綱(昭和 23 年 4 月 7 日厚生省発予第 20 号)に基づき、細菌検査・衛生試験を強化するため、検査・試験両室を統合整備して、昭和 23 年 10 月 22 日佐賀県衛生研究所(県庁構内)が発足した。

一方、佐賀県薬業指導所の前身である佐賀県立売薬研究所は昭和 7 年佐賀市に設立された。

昭和 24 年 4 月 総務課、試験検査課の 2 課制となる

昭和 27 年 薬業指導所の設置(鳥栖市大正町)

昭和 36 年 3 月 試験検査課が細菌検査室と理化学検査室に分かれる

昭和 38 年 10 月 総務課、微生物検査課、理化学試験課の 3 課制となる

昭和 40 年 6 月 衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所)の新設に伴い移転(佐賀市水ヶ江一丁目)

昭和 42 年 薬業指導所の移転(鳥栖市宿町)

昭和 45 年 9 月 公害検査課が新設され 4 課制となる

昭和 49 年 4 月 佐賀県公害センター設置に伴い公害検査課は公害センターに移管され 3 課制となる

昭和 58 年 12 月 衛生合同庁舎(佐賀中部保健所、衛生研究所、精神保健福祉センター)の新設に伴い移転(佐賀市八丁畷町)

平成 13 年 7 月 薬業指導所を統合し、医薬品課を新設、「佐賀県衛生薬業センター」に名称変更

平成 14 年 4 月 総務課が廃止され、微生物課、理化学課、医薬品課の 3 課制となる

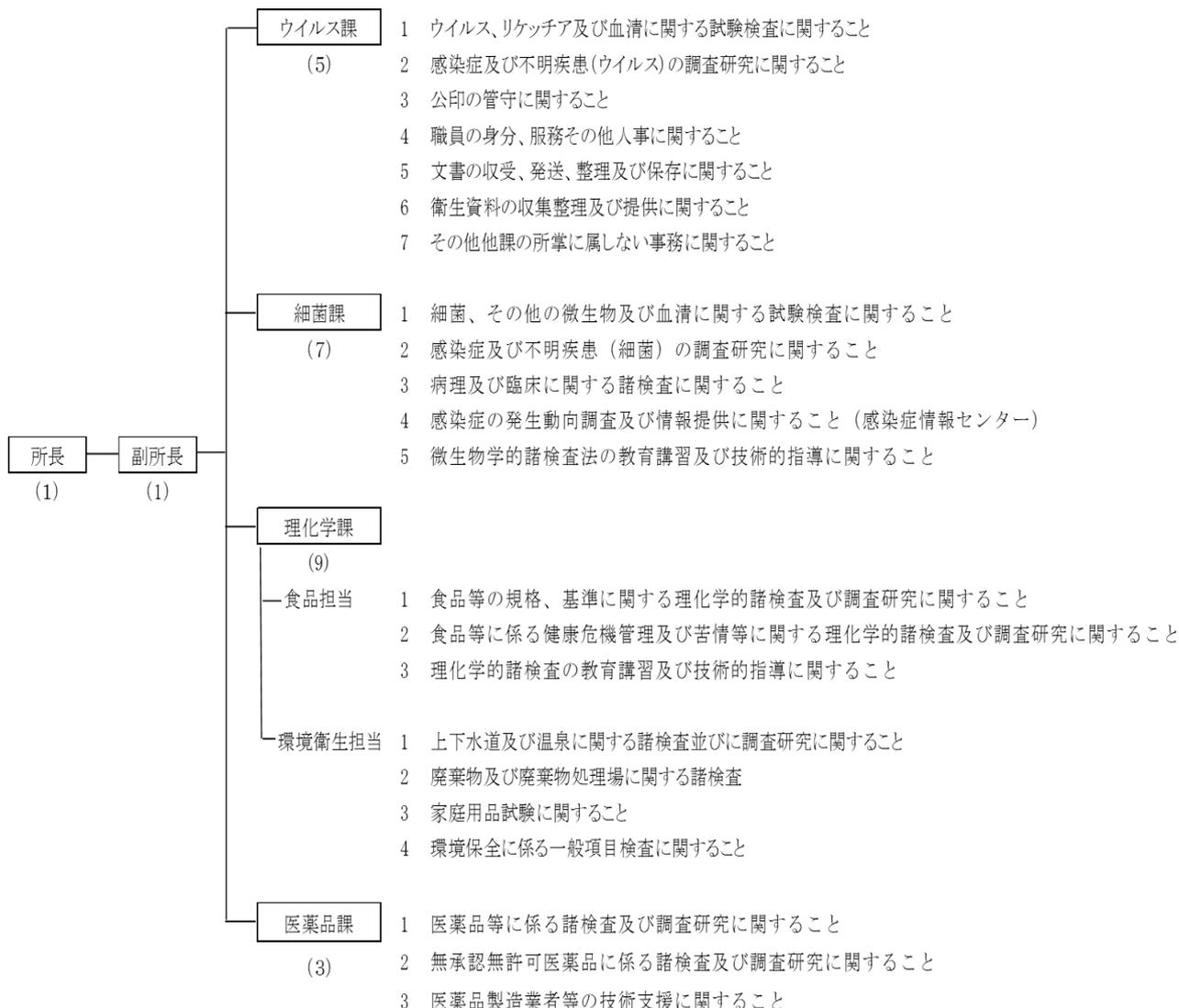
平成 22 年 4 月 佐賀中部、唐津、杵藤保健福祉事務所の検査部門を統合し、ウイルス課、細菌課、食品化学課、環境衛生課、医薬品課の 5 課制となる

平成 26 年 4 月 食品化学課と環境衛生課が統合されて、食品担当と環境衛生担当の 2 係からなる理化学課となり、ウイルス課、細菌課、医薬品課と合わせて 4 課制となる

(歴 代 所 長)

- 山口 伊典 (昭和24年4月～昭和27年6月)
西村 信一 (昭和27年6月～昭和28年1月)
清水 正一 (昭和28年2月～昭和55年3月)
佐藤 一江 (昭和55年4月～昭和60年3月)
佐柳 進 (昭和60年4月～昭和60年12月)
本村 資光 (昭和60年12月～平成元年4月)
土田 龍馬 (平成元年4月～平成6年3月)
石塚 正敏 (平成6年4月～平成8年7月)
金井 雅利 (平成8年8月～平成11年7月)
山崎 勝彦 (平成11年8月～平成14年3月)
山口 博之 (平成14年4月～平成16年3月)
下平 裕之 (平成16年4月～平成17年3月)
久保 康典 (平成17年4月～平成18年3月)
藤原 義行 (平成18年4月～平成20年3月)
武田 裕二 (平成20年4月～平成22年3月)
轟田 清典 (平成22年4月～平成24年3月)
古川 義朗 (平成24年4月～平成25年3月)
平野 圭子 (平成25年4月～平成26年3月)
中尾 剛 (平成26年4月～平成28年3月)
北島 淳二 (平成28年4月～平成30年3月)

3 組織及び業務



4 職員の構成

区分	獣医師	薬剤師	臨床検査技師	理工系	技術員等	計
所長				1		1
副所長		1				1
ウイルス課	1		4		1	6
細菌課	1		5		1	7
理化学課	食品担当	4 ^{※1}		1		5
	環境衛生担当	1		2	1	4
医薬品課		3				3
計	2	9	9	4	3	27

※1理化学課長含む